

「国土形成計画の推進に関する世論調査」の概要

平成27年10月
内閣府政府広報室

調査対象	全国20歳以上の日本国籍を有する者 3,000人 有効回収数 1,758人（回収率58.6%）
調査時期	平成27年8月20日～8月30日（調査員による個別面接聴取）
調査目的	国土形成計画の推進に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。
調査項目	人口減少・高齢化の影響について 居住地に求める条件について 地域生活・地域づくりのあり方について 老後の生活について 二地域居住に対する意向について
調査実績	「人口、経済社会等の日本の将来像に関する世論調査」（平成26年8月調査） 「歩いて暮らせるまちづくりに関する世論調査」（平成21年7月調査） 「国土の将来像に関する世論調査」（平成13年6月調査） 「これからの国土づくりに関する世論調査」（平成8年6月調査） 「国土の将来像に関する世論調査」（平成6年2月調査） 「国土の将来像に関する世論調査」（昭和58年9月調査）

（平成18年度の調査から、調査対象者に調査主体が「内閣府」であることを提示した上で実施。）

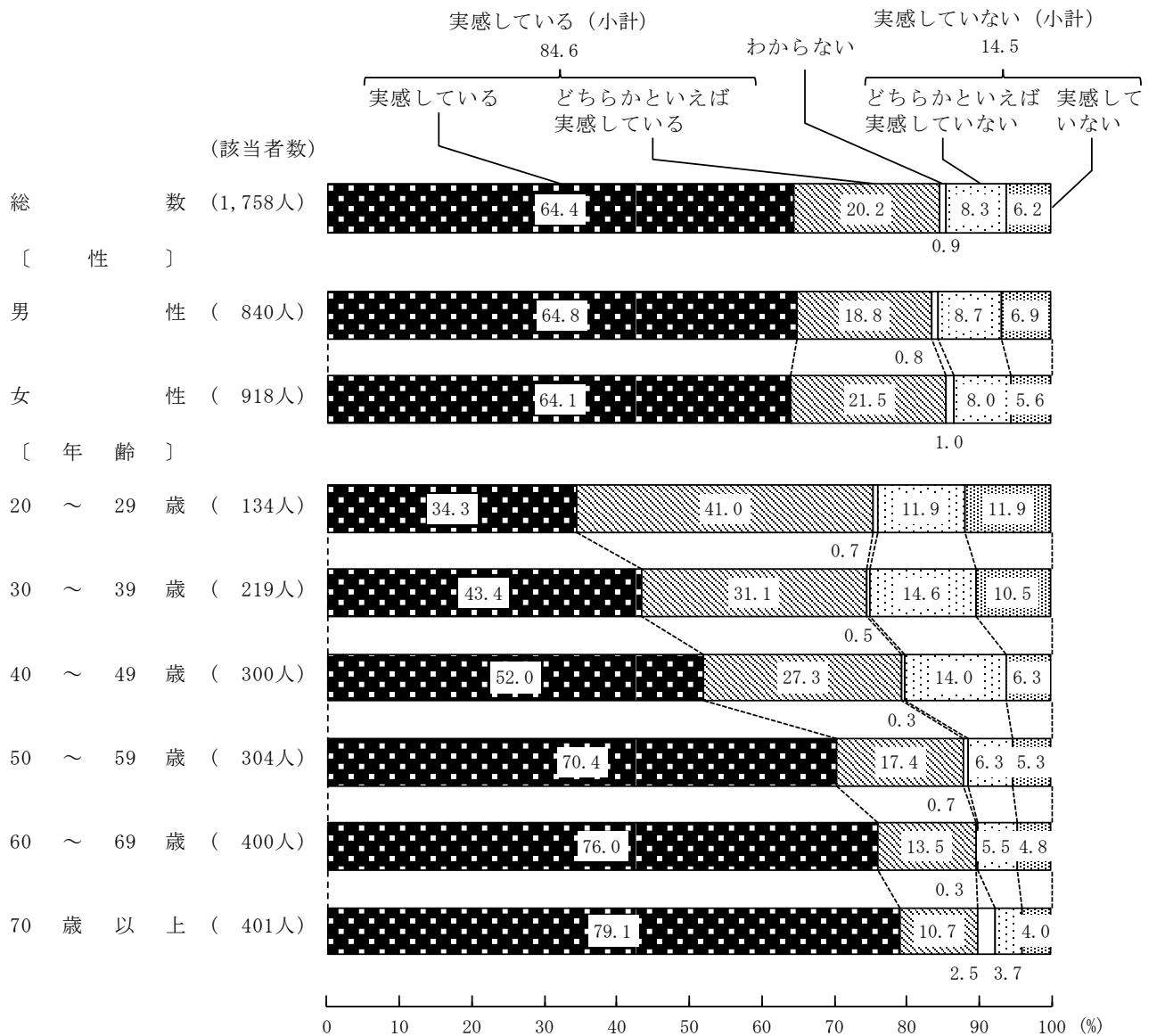
※ 本資料では、過去の調査結果との比較において、統計学的に有意差（信頼度95%）が認められる回答については、「（増）」または「（減）」と記載している。

1. 人口減少・高齢化の影響について

(1) 居住地における人口減少・高齢化の実感

問1 あなたは、お住まいの地域において日常生活を営む中で、人口減少や高齢化が進んだと実感していますか。それとも、実感していませんか。この中から1つだけお答えください。

		平成 27 年 8 月
・実感している (小計)		84.6%
・実感している		64.4%
・どちらかといえば実感している		20.2%
・実感していない (小計)		14.5%
・どちらかといえば実感していない		8.3%
・実感していない		6.2%



ア 人口減少・高齢化を実感する事象

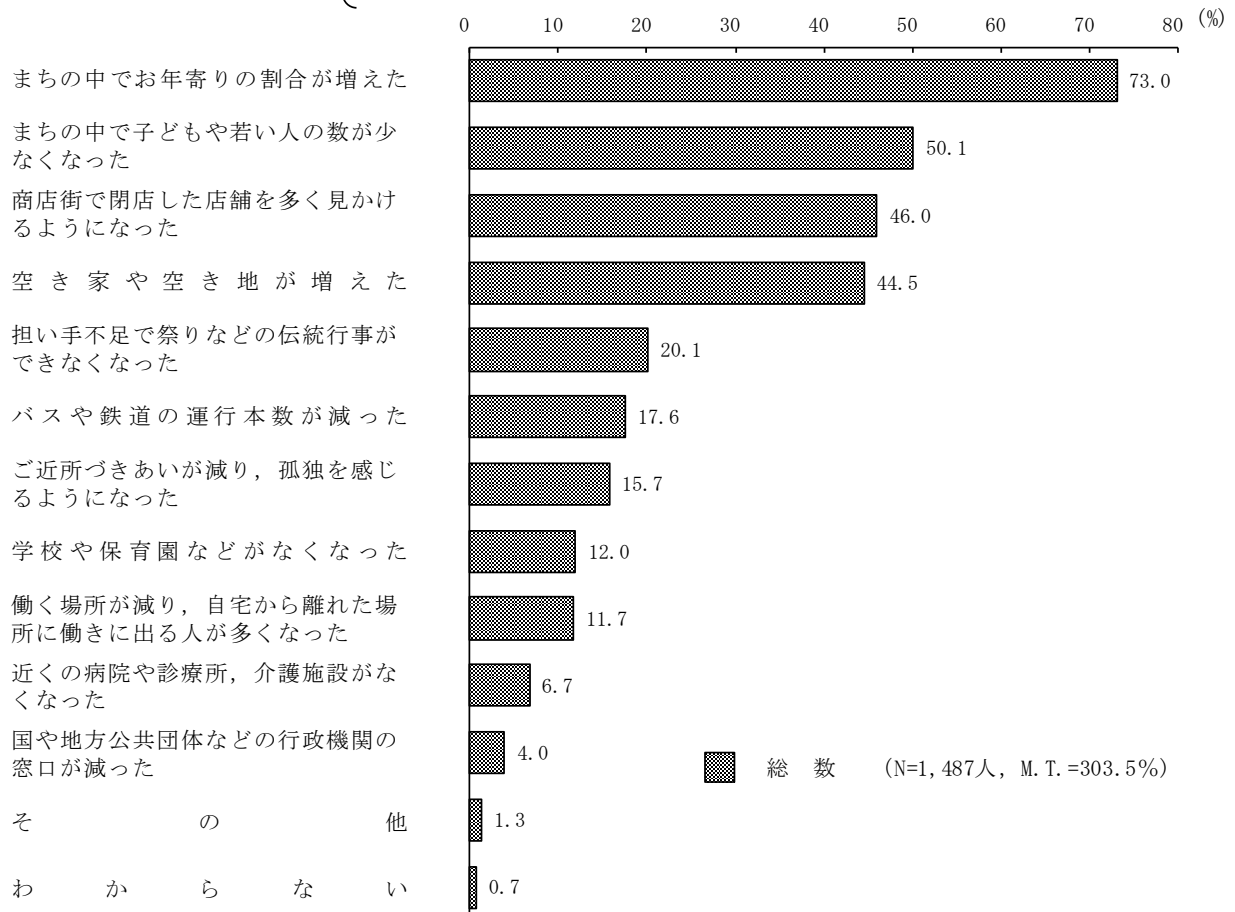
更問（問1で「実感している」、「どちらかといえば実感している」と答えた方（1,487人）に）
 あなたは、具体的にどのようなことを通じてそれを実感しますか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

（上位4項目）

平成27年8月

- ・まちの中でお年寄りの割合が増えた 73.0%
- ・まちの中で子どもや若い人の数が少なくなった 50.1%
- ・商店街で閉店した店舗を多く見かけるようになった 46.0%
- ・空き家や空き地が増えた 44.5%

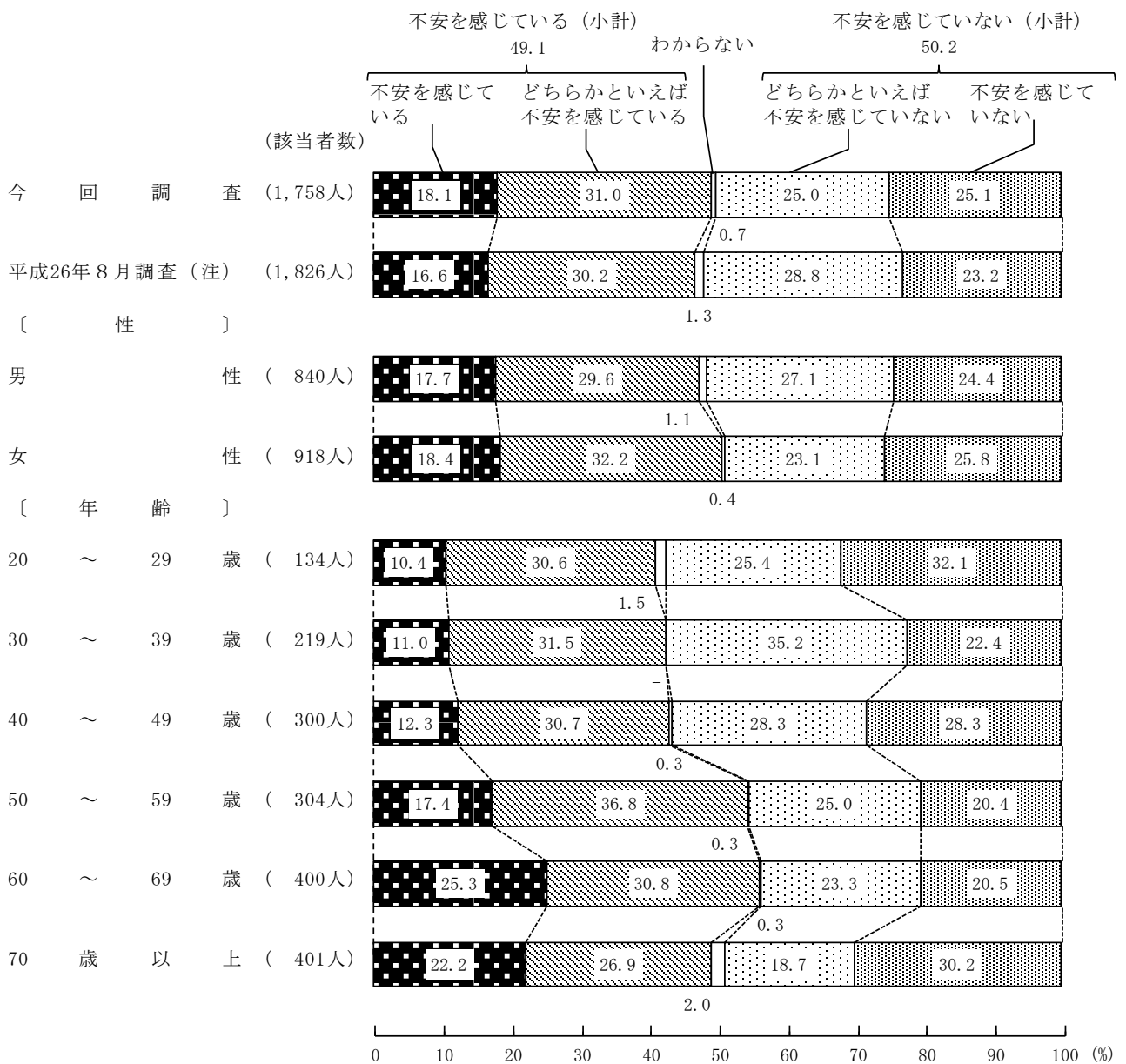
お住まいの地域において日常生活を営む上で、人口減少や高齢化が進んだと「実感している」、「どちらかといえば実感している」と答えた者に、複数回答



(2) 居住地の将来に対する不安

問2 あなたは、日常生活を営む中で、お住まいの地域の将来に不安を感じていますか。それとも、不安を感じていませんか。この中から1つだけお答えください。

	平成26年8月	平成27年8月
・不安を感じている (小計)	46.8%	→ 49.1%
・不安を感じている	16.6%	→ 18.1%
・どちらかといえば不安を感じている	30.2%	→ 31.0%
・不安を感じていない (小計)	51.9%	→ 50.2%
・どちらかといえば不安を感じてない	28.8%	→ 25.0% (減)
・不安を感じていない	23.2%	→ 25.1%



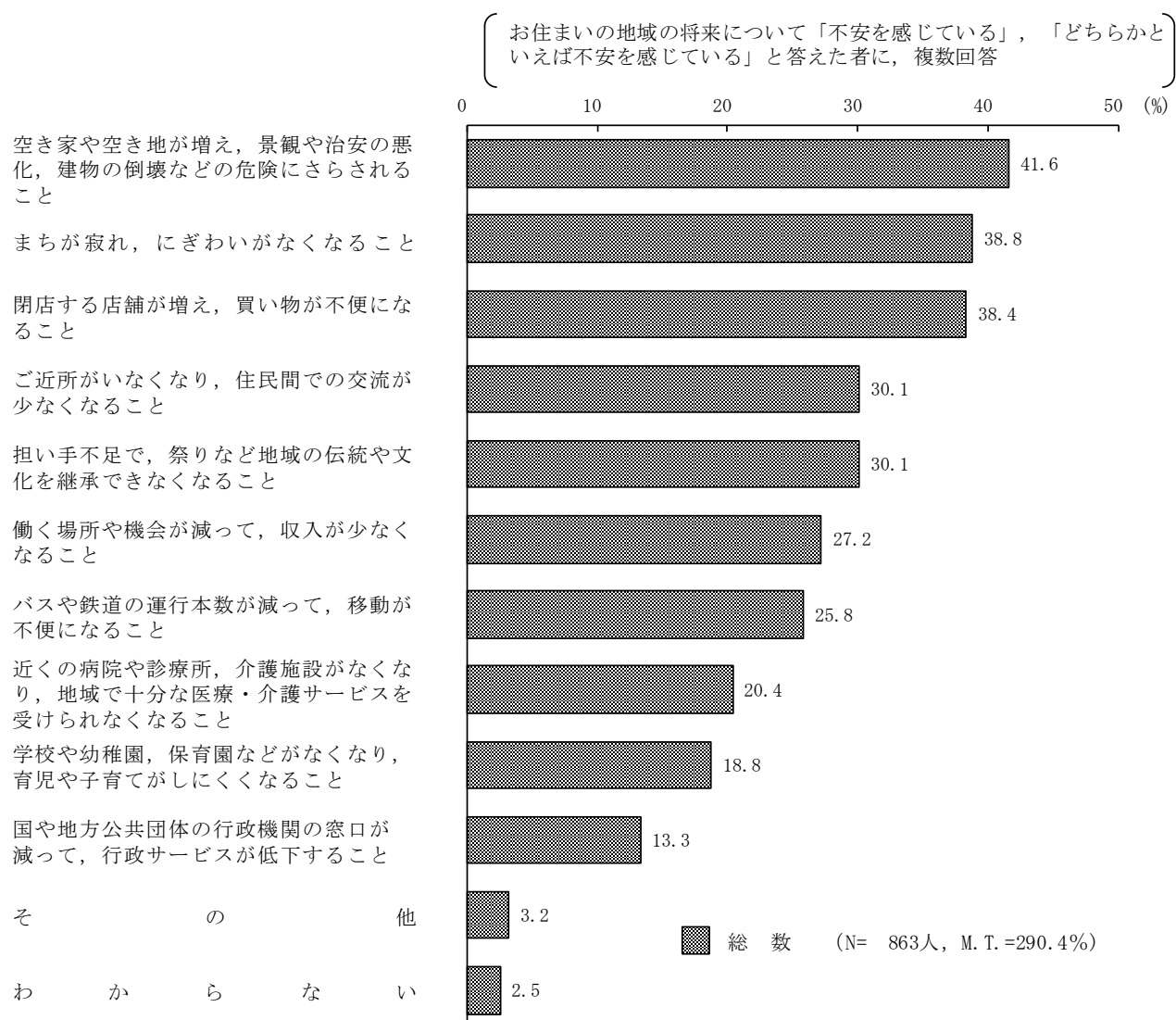
(注) 「あなたは、お住まいの地域の将来に不安を感じますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

ア 居住地の将来に関する不安要素

更問 (問2で「不安を感じている」、「どちらかといえば不安を感じている」と答えた方(863人)に)
 あなたは、具体的にどのようなことに不安を感じていますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位3項目)
 平成27年8月

- ・空き家や空き地が増え、景観や治安の悪化、建物の倒壊などの危険にさらされること 41.6%
- ・まちが寂れ、にぎわいがなくなること 38.8%
- ・閉店する店舗が増え、買い物が不便になること 38.4%

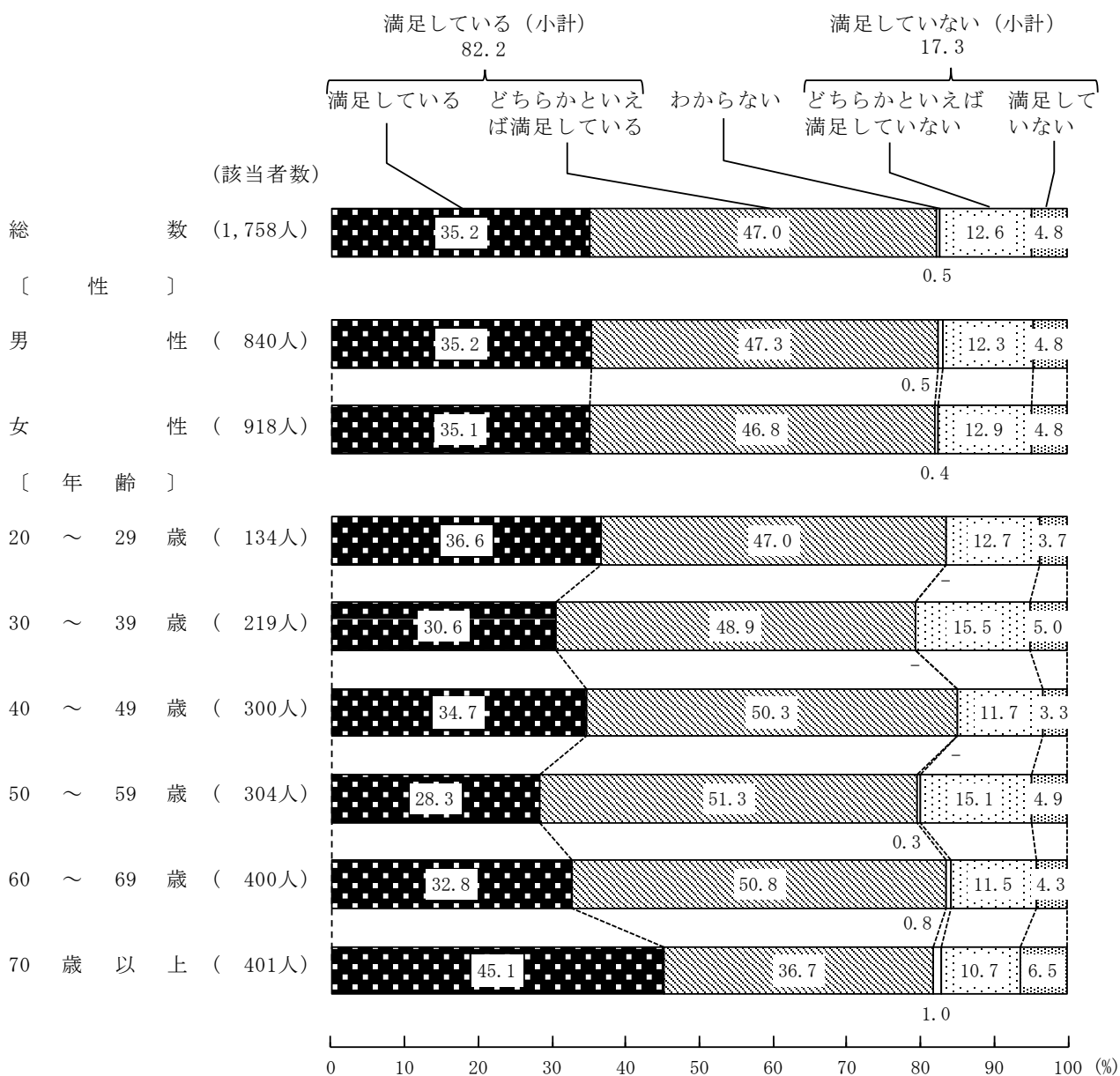


2. 居住地に求める条件について
 (1) 居住地の生活環境への満足度

問3 あなたは、現在お住まいの地域の生活環境に満足していますか。それとも、満足していませんか。この中から1つだけお答えください。

平成 27 年 8 月

- ・満足している (小計) 82.2%
- ・満足している 35.2%
- ・どちらかといえば満足している 47.0%
- ・満足していない (小計) 17.3%
- ・どちらかといえば満足していない 12.6%
- ・満足していない 4.8%

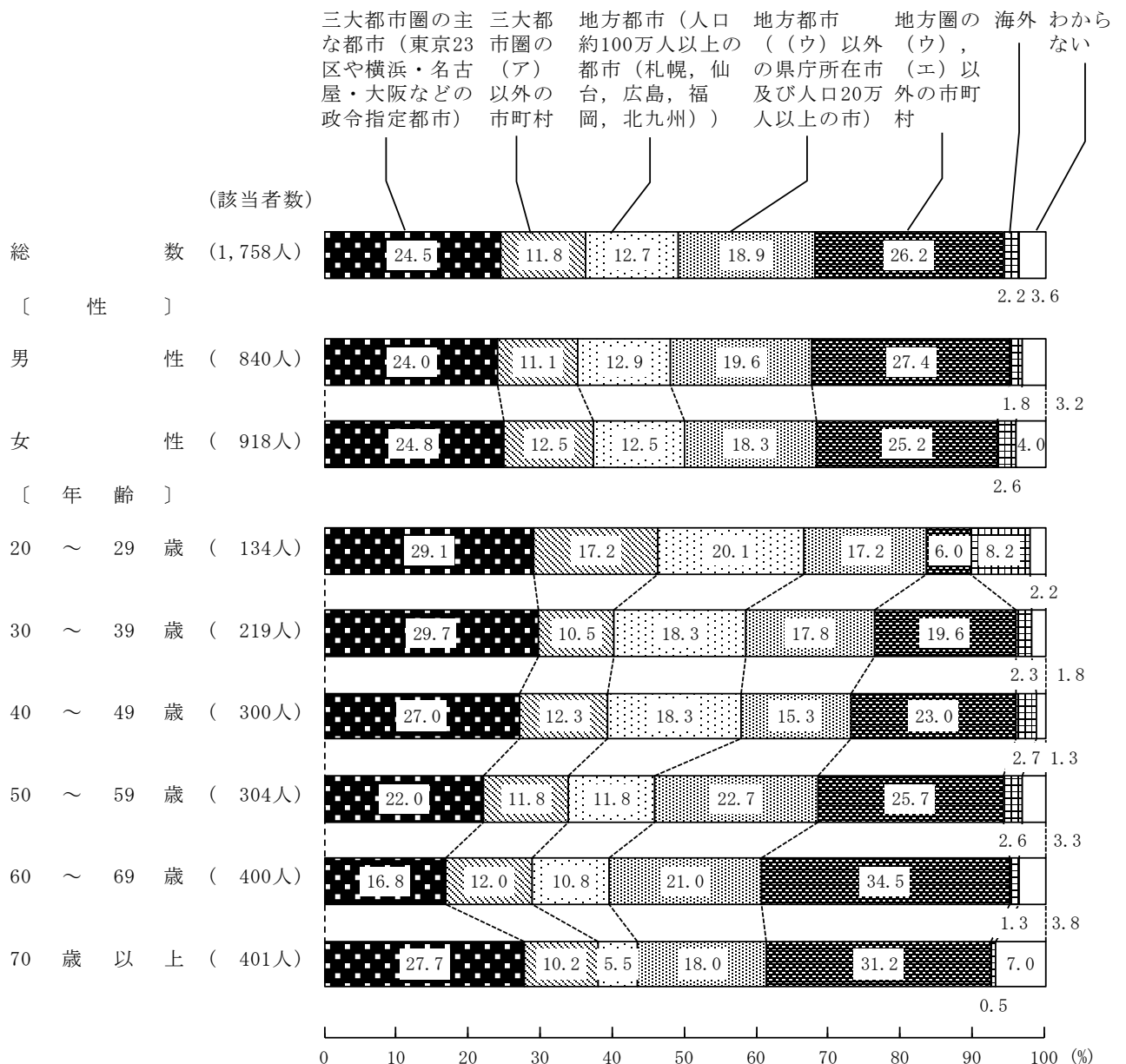


(2) 居住を希望する地域

問4 あなたは、どのようなところに住みたいと思いますか。この中から1つだけお答えください。
 なお、三大都市圏とは、埼玉、千葉、東京、神奈川、岐阜、愛知、三重、京都、大阪、兵庫及び奈良の11都府県を指します。地方圏とは、それ以外の道県です。

平成27年8月

- ・(ア) 三大都市圏の主な都市（東京23区や横浜・名古屋・大阪などの政令指定都市） 24.5%
- ・(イ) 三大都市圏の(ア)以外の市町村 11.8%
- ・(ウ) 地方都市（人口約100万人以上の都市（札幌、仙台、広島、福岡、北九州）） 12.7%
- ・(エ) 地方都市（(ウ)以外の県庁所在市及び人口20万人以上の市） 18.9%
- ・(オ) 地方圏の(ウ), (エ)以外の市町村 26.2%
- ・(カ) 海外 2.2%



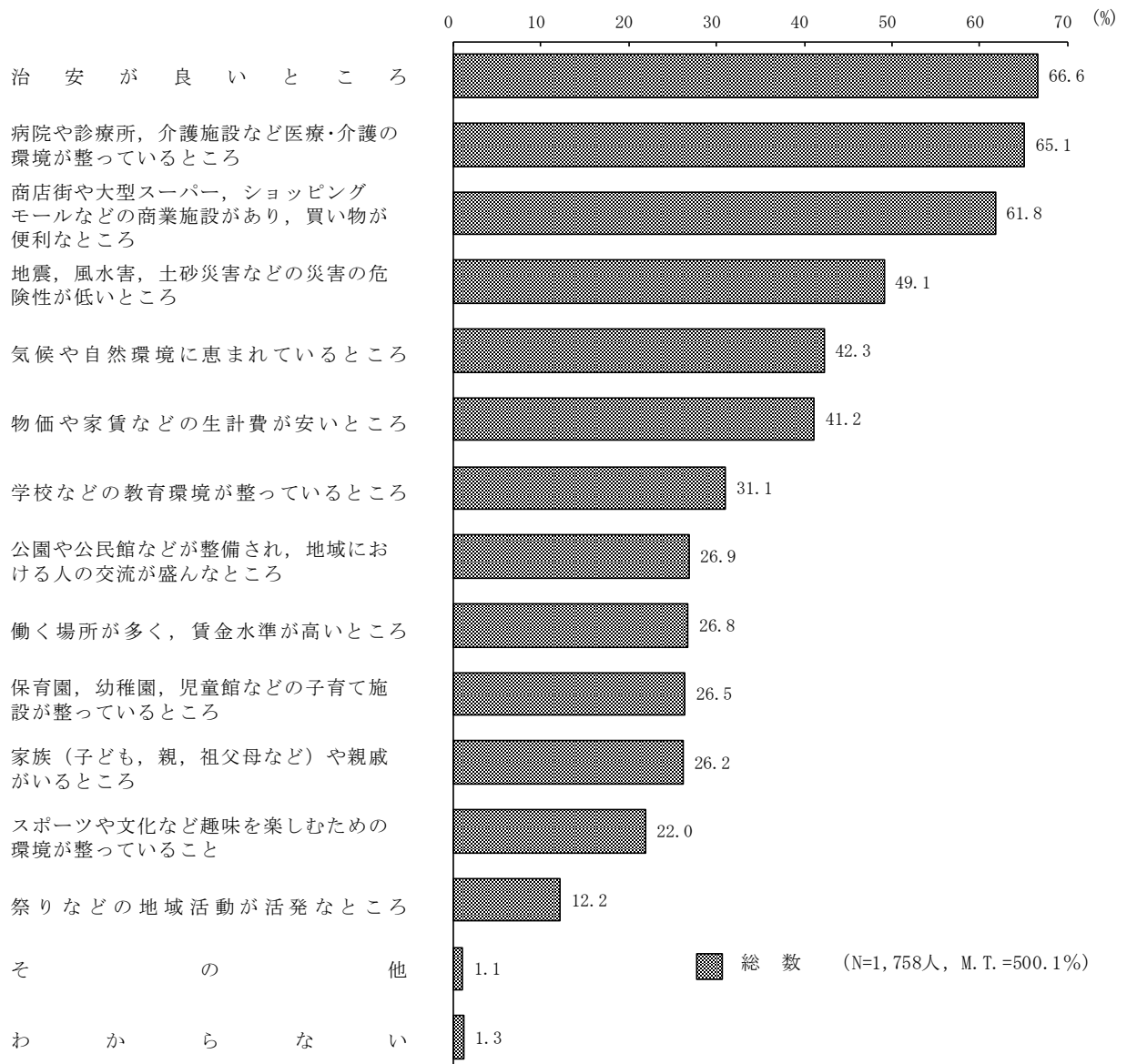
(3) 居住する地域を選ぶ上で重視する条件

問5 あなたは、住む地域を選ぶ上で特にどのような条件を重視しますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)
平成27年8月

- ・治安が良いところ 66.6%
- ・病院や診療所、介護施設など医療・介護の環境が整っているところ 65.1%
- ・商店街や大型スーパー、ショッピングモールなどの商業施設があり、買い物が便利なところ 61.8%
- ・地震、風水害、土砂災害などの災害の危険性が低いところ 49.1%

(複数回答)



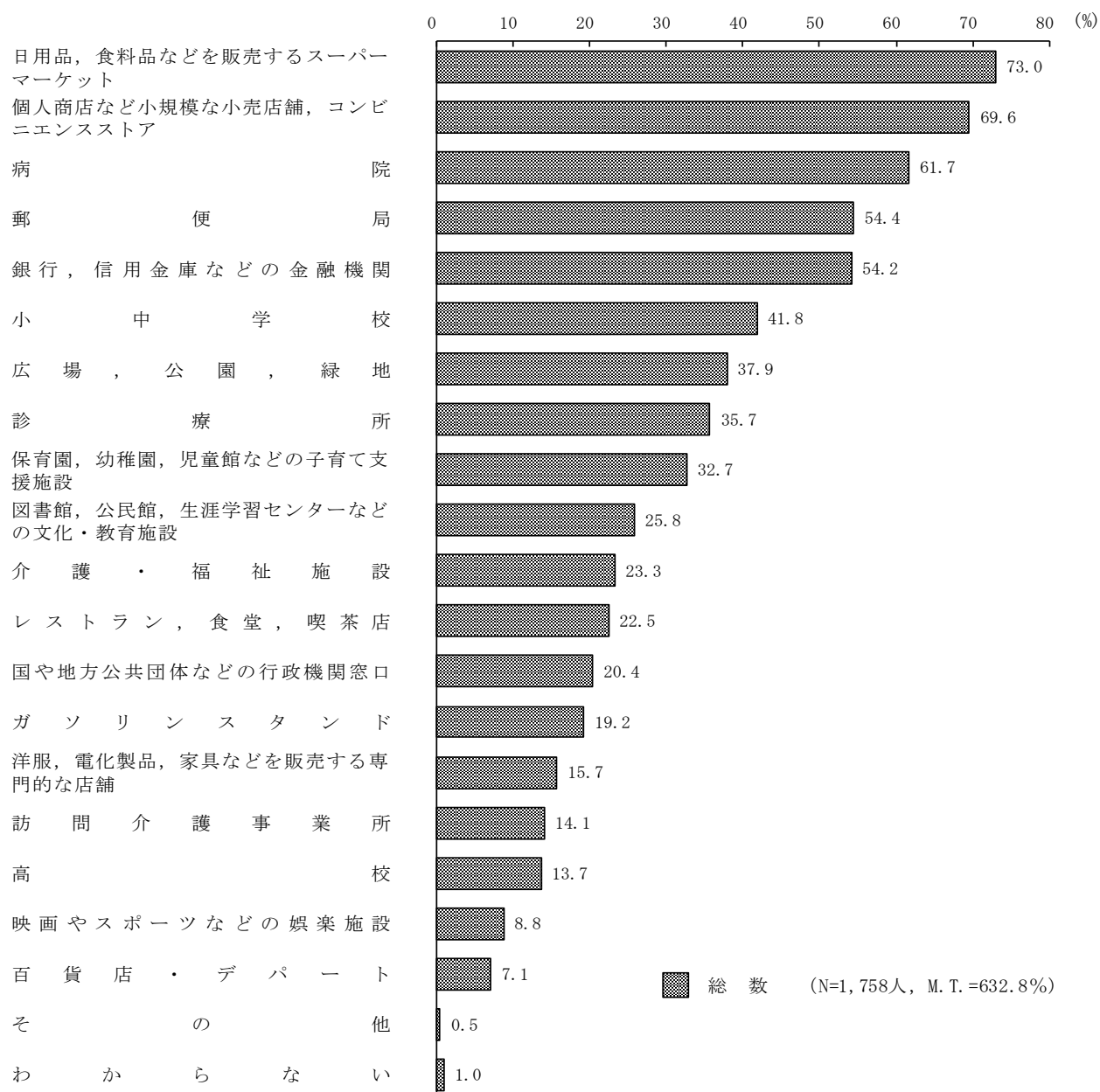
(4) 徒歩・自転車で行ける範囲に必要な施設

問6(1) あなたが、日常生活を営む上で、自宅から徒歩や自転車で行ける範囲に最低限必要とする施設を、この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位5項目)
平成27年8月

- ・日用品、食料品などを販売するスーパーマーケット 73.0%
- ・個人商店など小規模な小売店舗、コンビニエンスストア 69.6%
- ・病院 61.7%
- ・郵便局 54.4%
- ・銀行、信用金庫などの金融機関 54.2%

(複数回答)

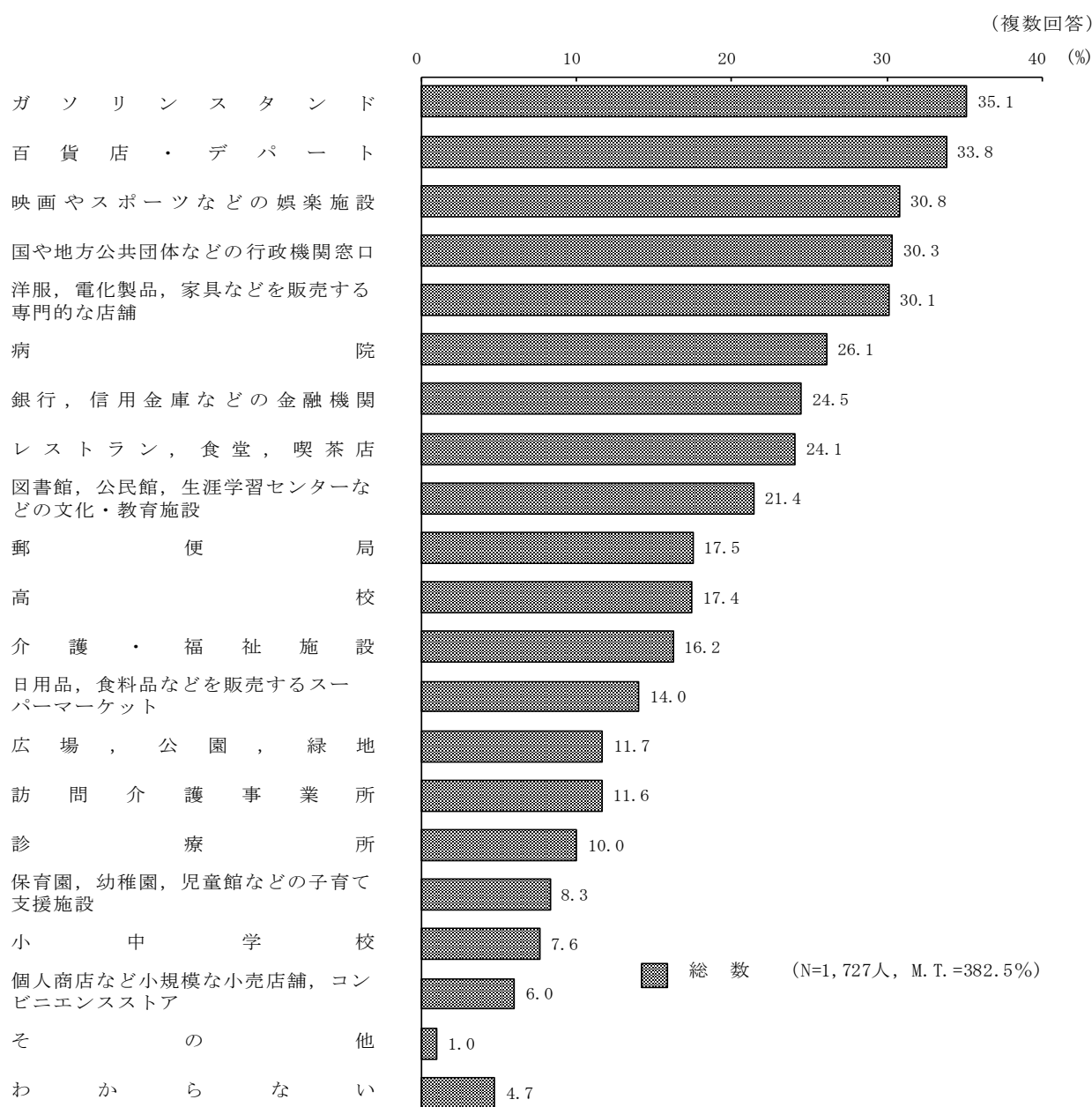


(5) バス等で30分以内の範囲に必要な施設

問6(2) あなたが、日常生活を営む上で、(1)で答えたもの以外で、自宅からバス・電車や車などの交通手段を利用して30分以内で行ける範囲に最低限必要とする施設を、この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位5項目)
平成27年8月

- ・ガソリンスタンド 35.1%
- ・百貨店・デパート 33.8%
- ・映画やスポーツなどの娯楽施設 30.8%
- ・国や地方公共団体などの行政機関窓口 30.3%
- ・洋服、電化製品、家具などを販売する専門的な店舗 30.1%

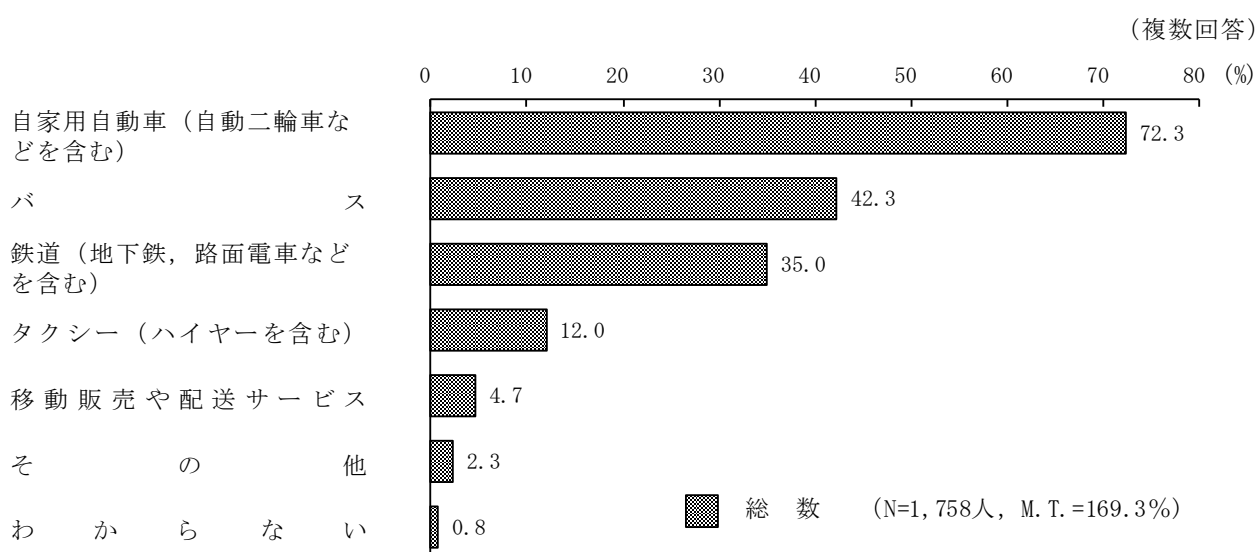


(6) 自宅と生活サービス施設が集まった場所を行き来する際に利用する交通手段等

問7 仮に、あなたのお住まいの地域にある複数の生活サービス施設が、自宅からバス・電車や車などの交通手段を利用して30分程度の場所に集められたとします。あなたは、自宅とその場所を行き来する交通手段などについて、何を利用すると思いますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位3項目)
平成27年8月

- ・自家用自動車(自動二輪車などを含む) 72.3%
- ・バス 42.3%
- ・鉄道(地下鉄, 路面電車などを含む) 35.0%

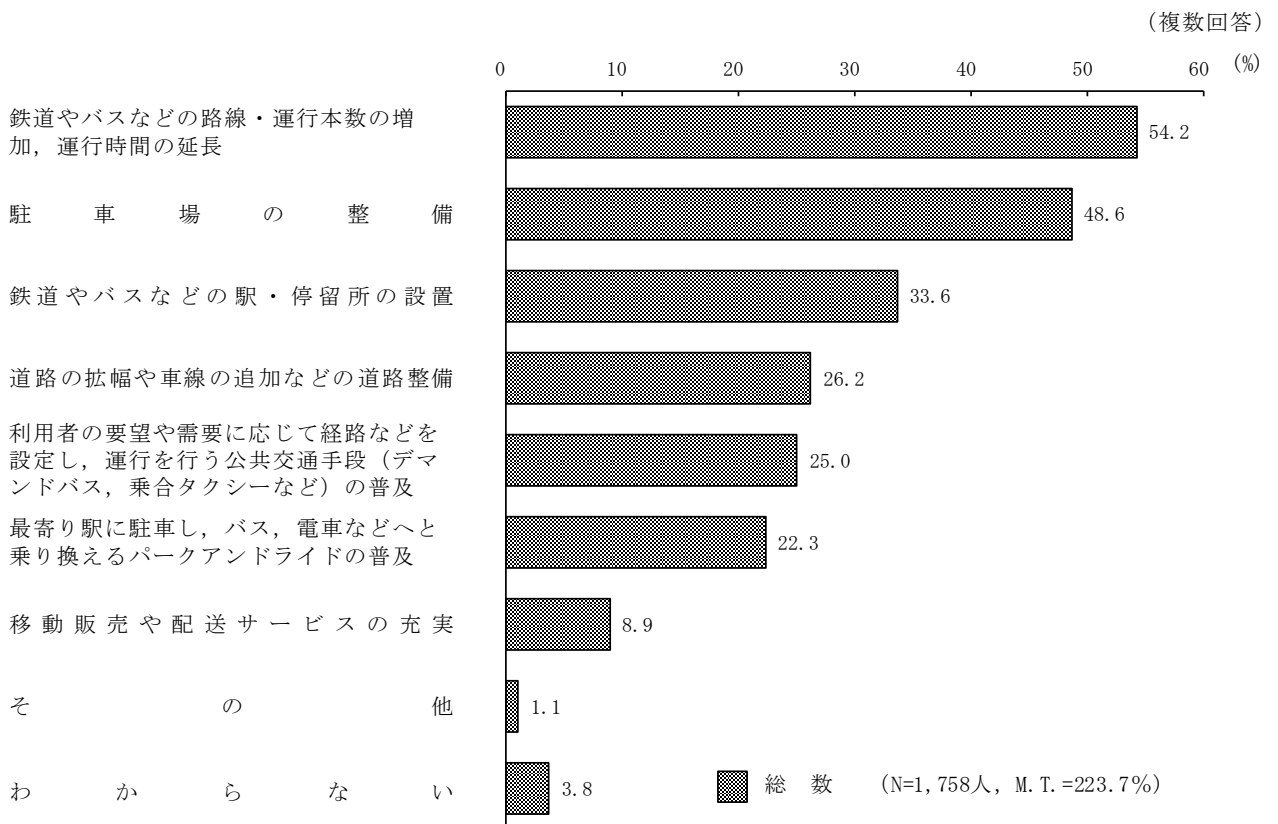


(7) 自宅と生活サービス施設が集まった場所を行き来する交通手段等に関する要望

問8 仮に、あなたのお住まいの地域にある複数の生活サービス施設が、自宅からバス・電車や車などの交通手段を利用して30分程度の場所に集められた場合に、あなたは、自宅とその場所を行き来する交通手段などを整備する上で、どのようなことに力を入れて欲しいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位3項目)
平成27年8月

- ・鉄道やバスなどの路線・運行本数の増加，運行時間の延長 54.2%
- ・駐車場の整備 48.6%
- ・鉄道やバスなどの駅・停留所の設置 33.6%



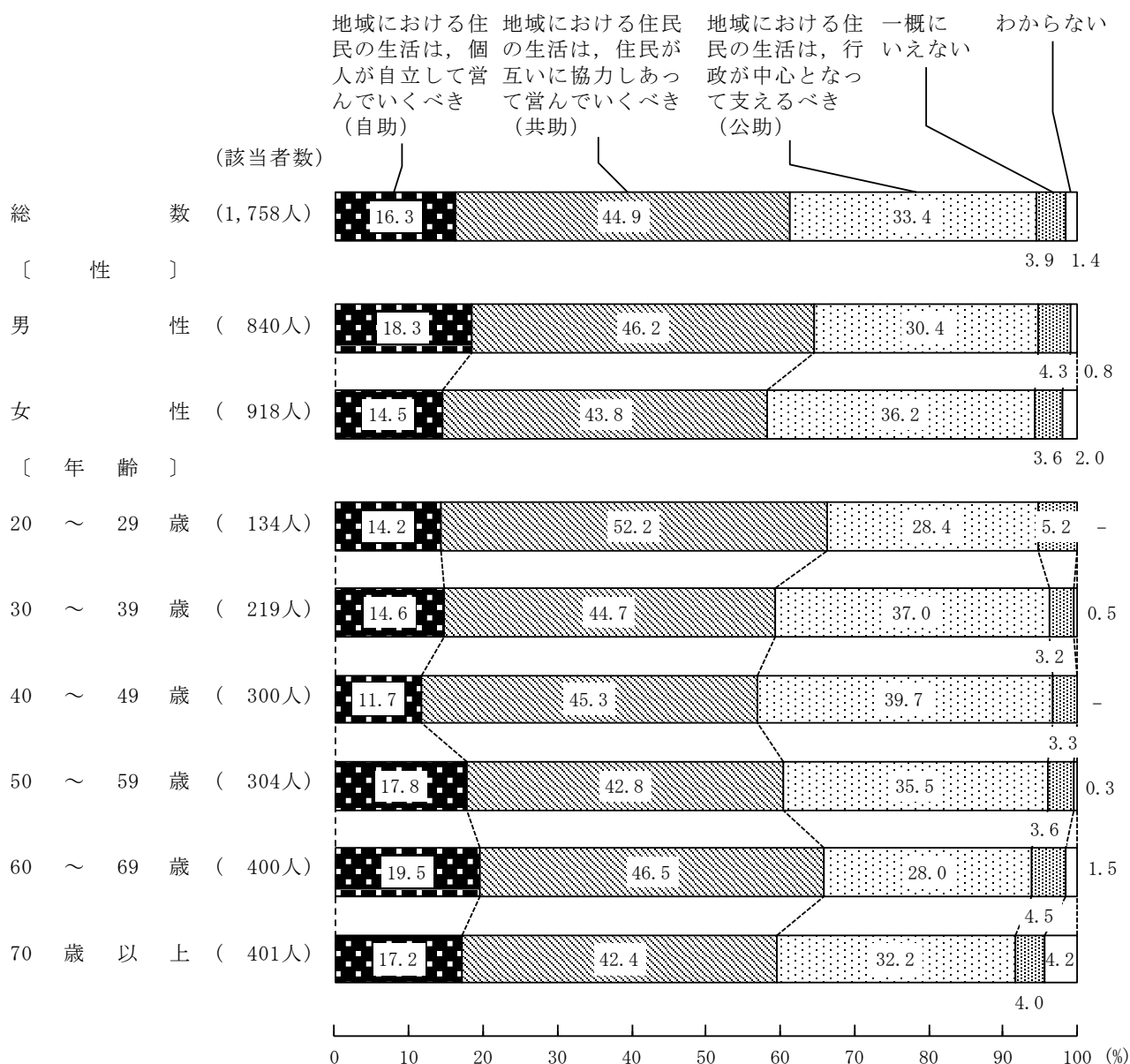
3. 地域生活・地域づくりのあり方について

(1) 地域生活で重視する考え方（自助・共助・公助）

問9 地域において住民が生活を営んでいく上で、主に自助、共助、公助という3つの考え方がありますが、本格的な人口減少・高齢化時代を迎え、財政的な制約も厳しくなっていく中で、あなたはどの考え方を最も重視しますか。この中から1つだけお答えください。

平成 27 年 8 月

- ・地域における住民の生活は、個人が自立して営んでいくべき（自助） 16.3%
- ・地域における住民の生活は、住民が互いに協力しあって営んでいくべき（共助） 44.9%
- ・地域における住民の生活は、行政が中心となって支えるべき（公助） 33.4%



(2) 参加したい地域づくりの活動

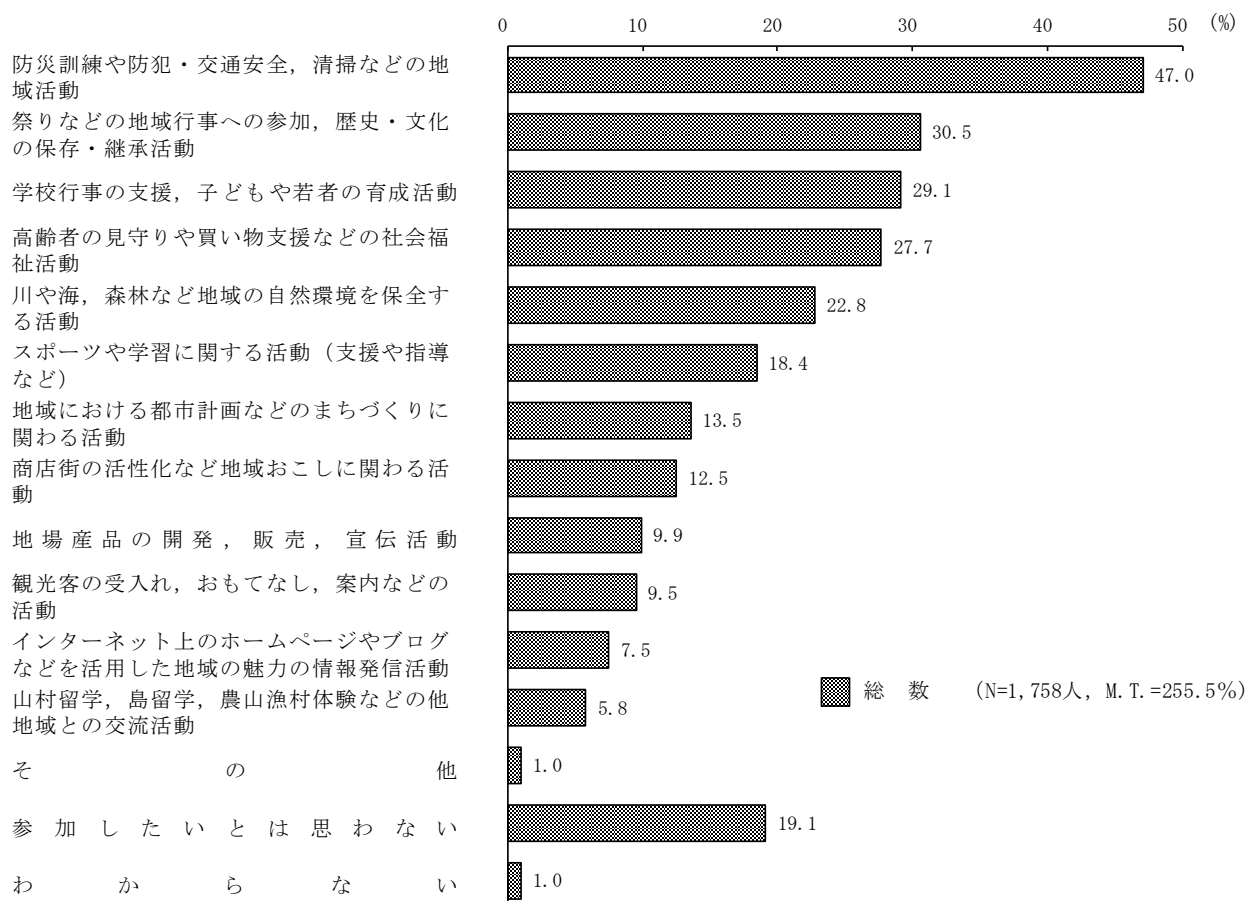
問10 あなたは、お住まいの地域における地域づくりに関わる活動として、どのようなものに参加したいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)
平成27年8月

- ・ 防災訓練や防犯・交通安全、清掃などの地域活動 47.0%
- ・ 祭りなどの地域行事への参加、歴史・文化の保存・継承活動 30.5%
- ・ 学校行事の支援、子どもや若者の育成活動 29.1%
- ・ 高齢者の見守りや買い物支援などの社会福祉活動 27.7%

- ・ 参加したいとは思わない 19.1%

(複数回答)

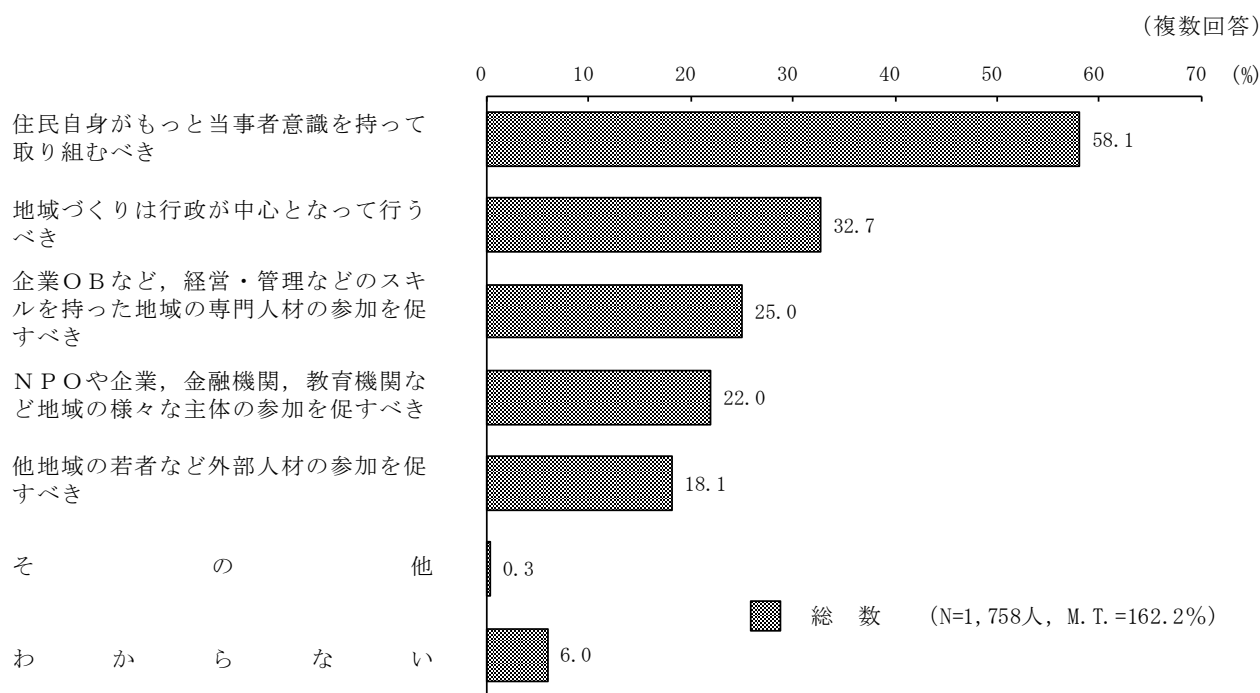


(3) 地域づくりの担い手として参加が必要な主体

問 1 1 自立的な地域づくりを進めるためには、地域における担い手の役割が重要となりますが、あなたがお住まいの地域では、地域づくりの担い手として、特にどのような主体の参加が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位 4 項目)
平成 27 年 8 月

- ・住民自身をもっと当事者意識を持って取り組むべき 58.1%
- ・地域づくりは行政が中心となって行うべき 32.7%
- ・企業OBなど、経営・管理などのスキルを持った地域の専門人材の参加を促すべき 25.0%
- ・NPOや企業、金融機関、教育機関など地域の様々な主体の参加を促すべき 22.0%



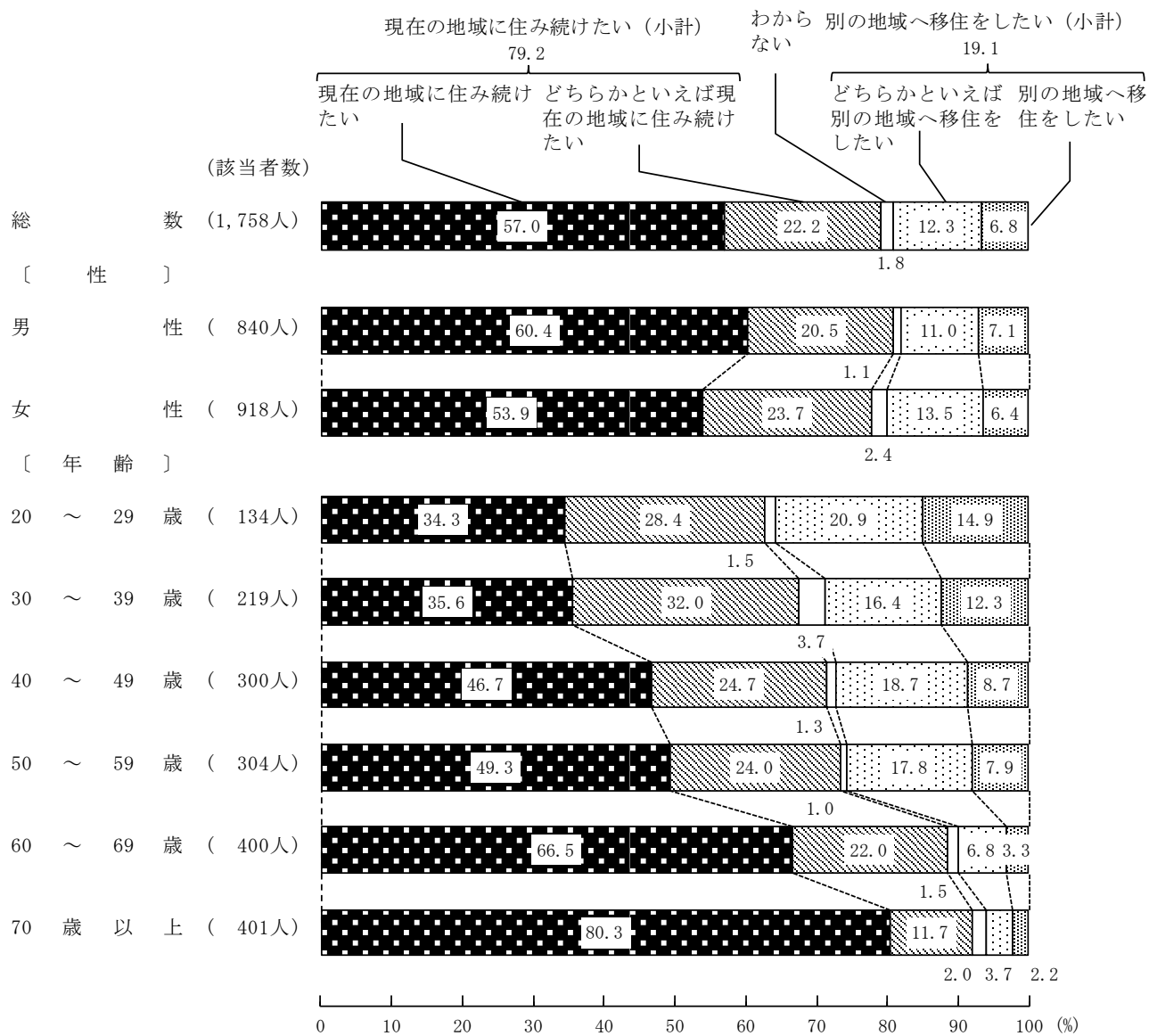
4. 老後の生活について

(1) 老後に向けた移住の意向の有無

問 1 2 あなたは、老後の生活を考えた場合、現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。それとも別の地域へ移住（近隣への住み替えを除く）をしたいと思いますか。この中から1つだけお答えください。

平成 27 年 8 月

- ・現在の地域に住み続けたい（小計） 79.2%
- ・現在の地域に住み続けたい 57.0%
- ・どちらかといえば現在の地域に住み続けたい 22.2%
- ・別の地域へ移住をしたい（小計） 19.1%
- ・どちらかといえば別の地域へ移住をしたい 12.3%
- ・別の地域へ移住をしたい 6.8%

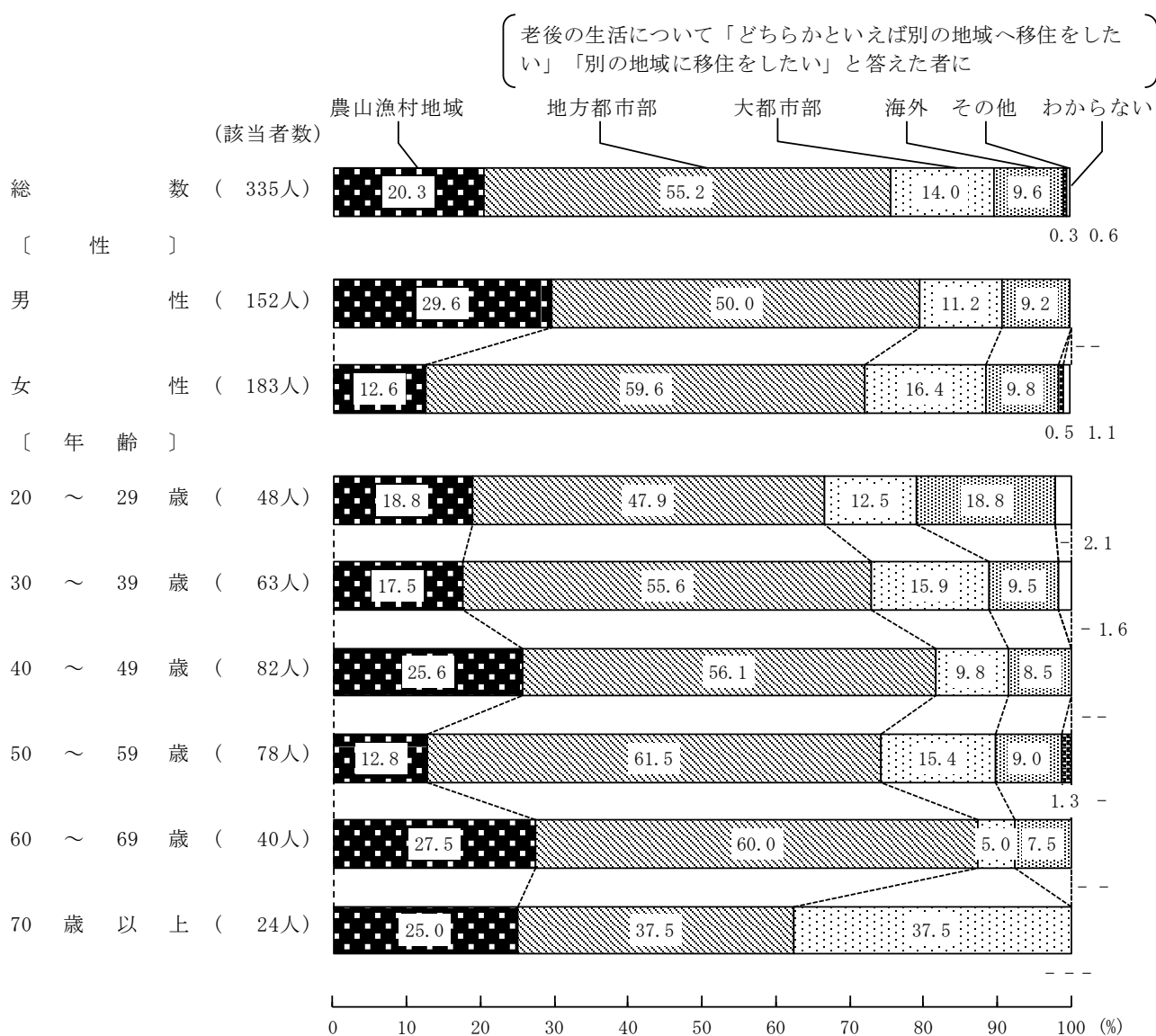


ア 希望する移住先

更問1 (問12で「どちらかといえば別の地域へ移住をしたい」、「別の地域へ移住をしたい」と答えた方(335人)に)
 あなたは、具体的にどのような地域へ移住をしたいですか。この中から1つだけお答えください。

平成27年8月

- ・農山漁村地域 20.3%
- ・地方都市部 55.2%
- ・大都市部 14.0%
- ・海外 9.6%

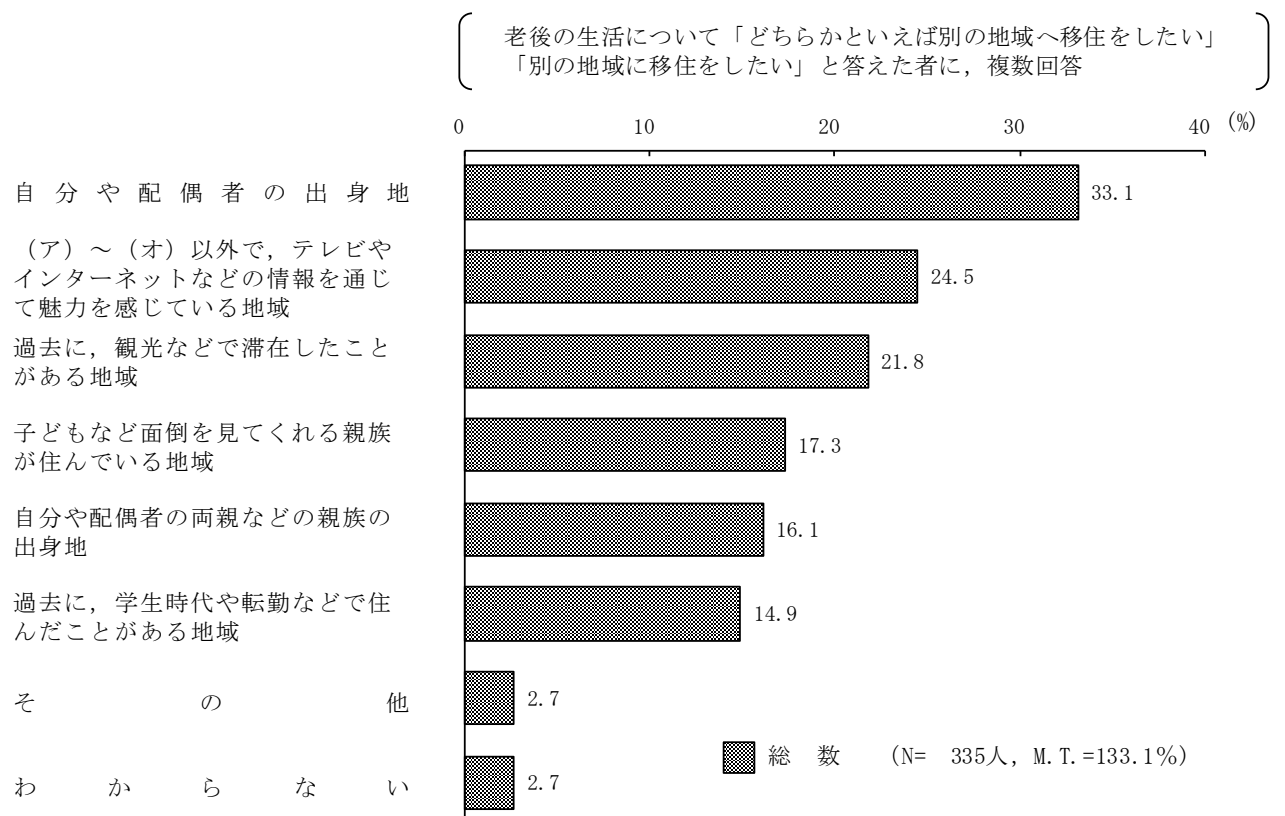


イ 希望する移住先の地縁・関係性

更問2 (問12で「どちらかといえば別の地域へ移住をしたい」、「別の地域へ移住をしたい」と答えた方(335人)に)
 希望する移住先はどのような地域ですか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位6項目)
 平成27年8月

- ・(ア) 自分や配偶者の出身地 33.1%
- ・(カ) (ア)～(オ)以外で、テレビやインターネットなどの情報を通じて魅力を感じている地域 24.5%
- ・(オ) 過去に、観光などで滞在したことがある地域 21.8%
- ・(ウ) 子どもなど面倒を見てくれる親族が住んでいる地域 17.3%
- ・(イ) 自分や配偶者の両親などの親族の出身地 16.1%
- ・(エ) 過去に、学生時代や転勤などで住んだことがある地域 14.9%



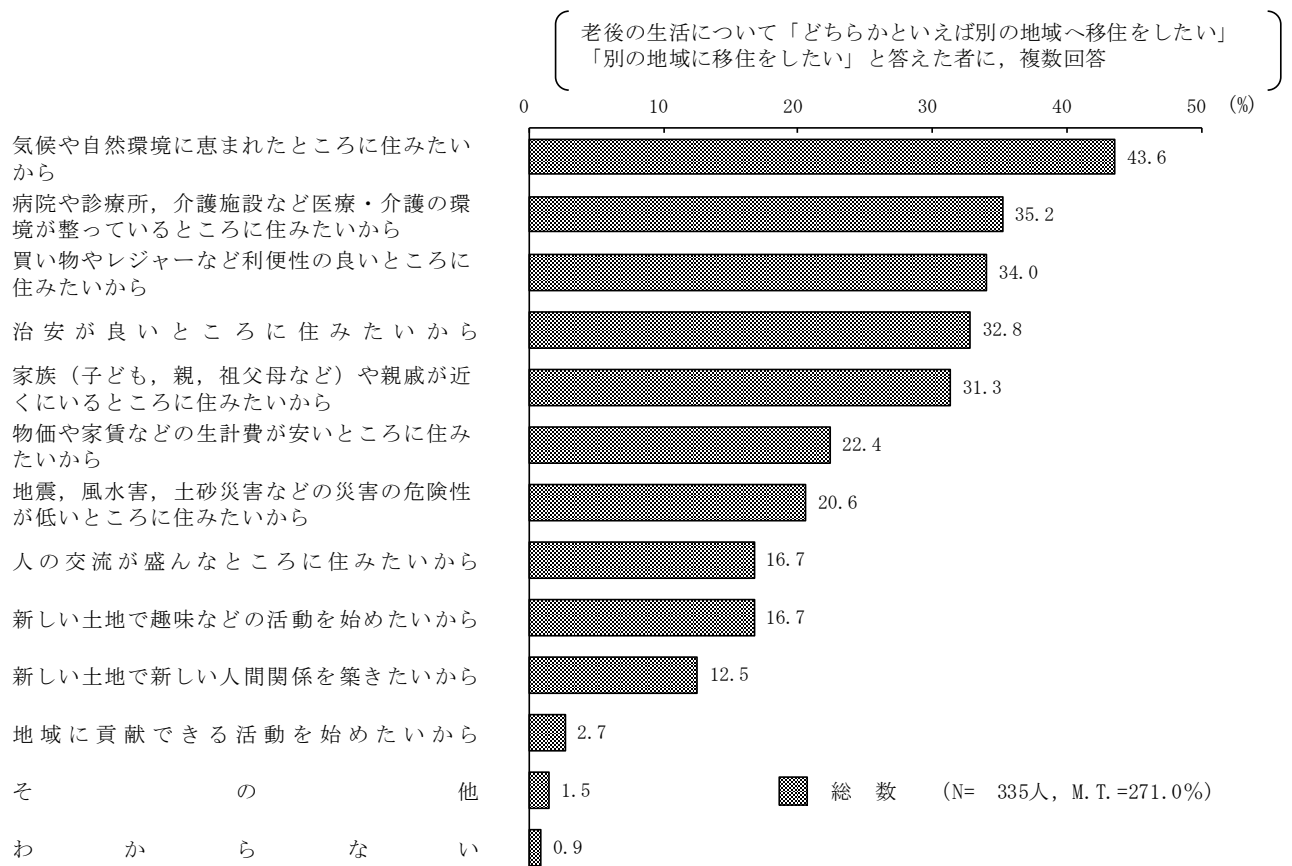
ウ 移住をしたいと思います理由

更問3 問12で「どちらかといえば別の地域へ移住をしたい」、「別の地域へ移住をしたい」と答えた方(335人)に

移住をしたいと思います理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位5項目)
平成27年8月

- ・気候や自然環境に恵まれたところに住みたいから 43.6%
- ・病院や診療所、介護施設など医療・介護の環境が整っているところに住みたいから 35.2%
- ・買い物やレジャーなど利便性の良いところに住みたいから 34.0%
- ・治安が良いところに住みたいから 32.8%
- ・家族(子ども、親、祖父母など)や親戚が近くにいるところに住みたいから 31.3%

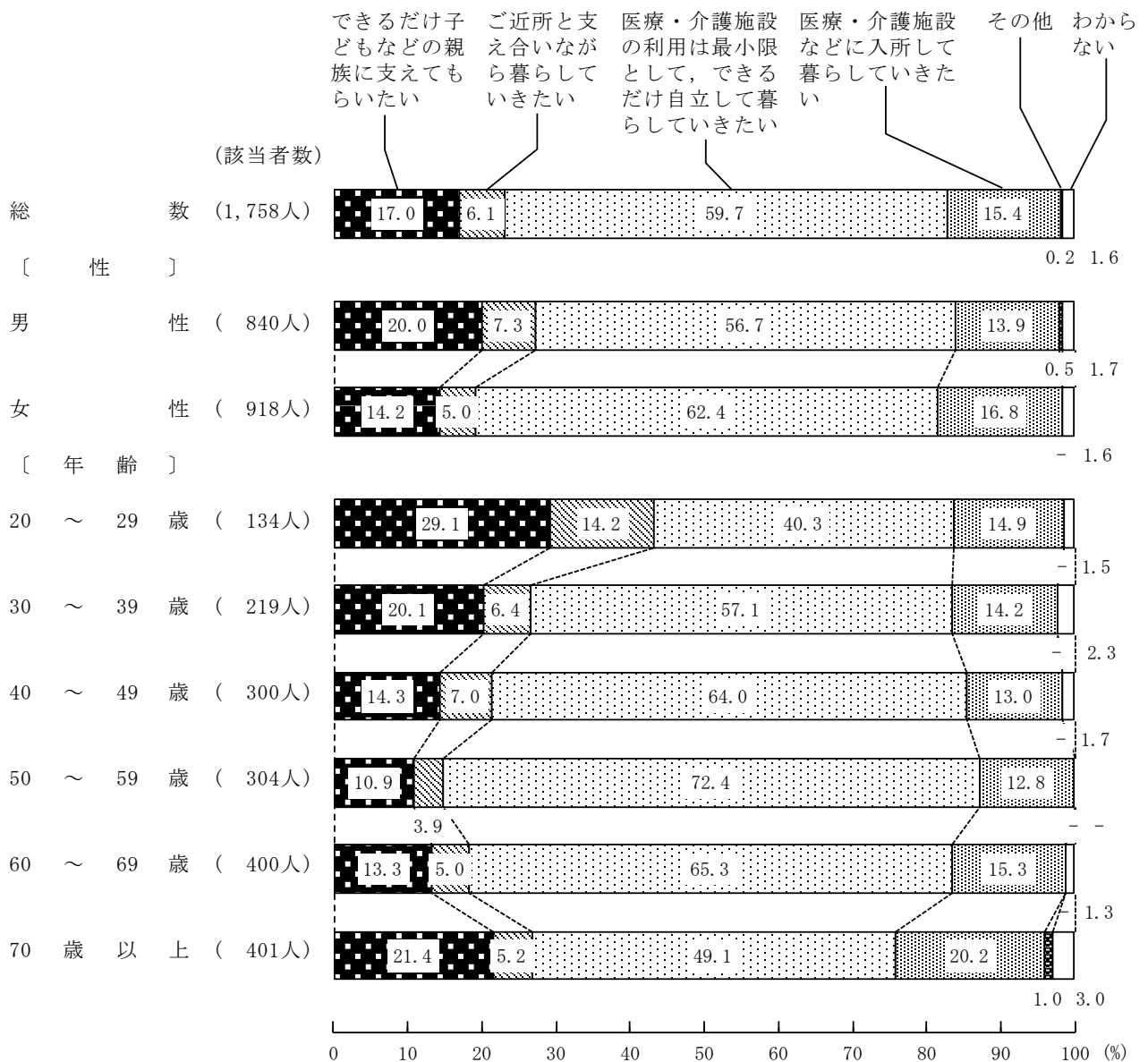


(2) 生活支援や介護が必要となった場合の暮らし方

問 1 3 あなたは、老後の日常生活において、生活支援や介護が必要となった場合には、主にどのような生活を希望しますか。この中から1つだけお答えください。

平成 27 年 8 月

- ・できるだけ子どもなどの親族に支えてもらいたい 17.0%
- ・ご近所と支え合いながら暮らしていきたい 6.1%
- ・医療・介護施設の利用は最小限として、できるだけ自立して暮らしていきたい 59.7%
- ・医療・介護施設などに入所して暮らしていきたい 15.4%

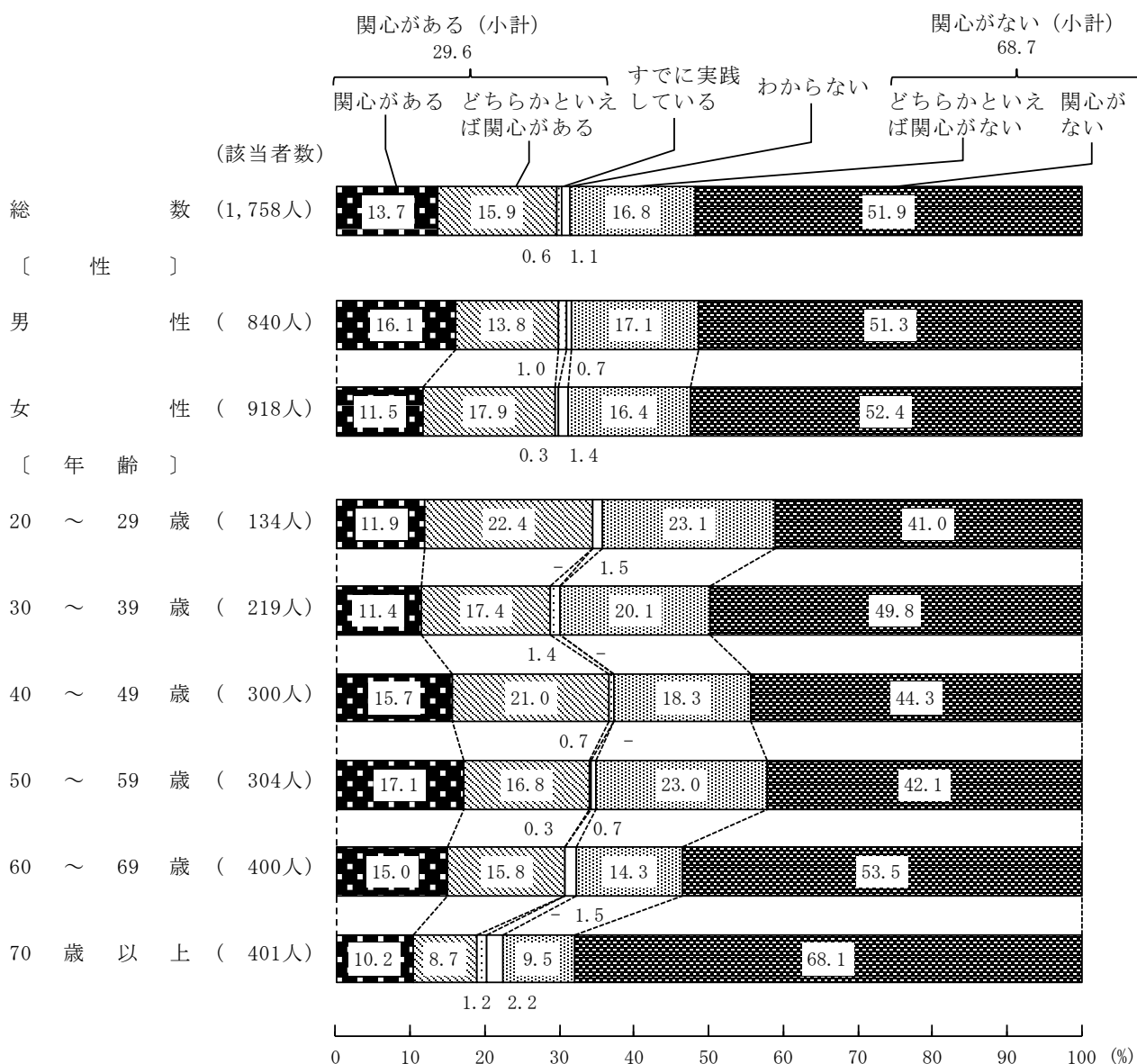


5. 二地域居住に対する意向について
 (1) 二地域居住に対する関心

問 1 4 あなたは、例えば、平日は都市、週末は地方で生活するなど、異なる地域で同時に生活拠点を
 持つ二地域居住のライフスタイルに関心がありますか。この中から1つだけお答えください。

平成 27 年 8 月

・関心がある (小計)	29.6%
・関心がある	13.7%
・どちらかといえば関心がある	15.9%
・関心がない (小計)	68.7%
・どちらかといえば関心がない	16.8%
・関心がない	51.9%
・すでに実践している	0.6%



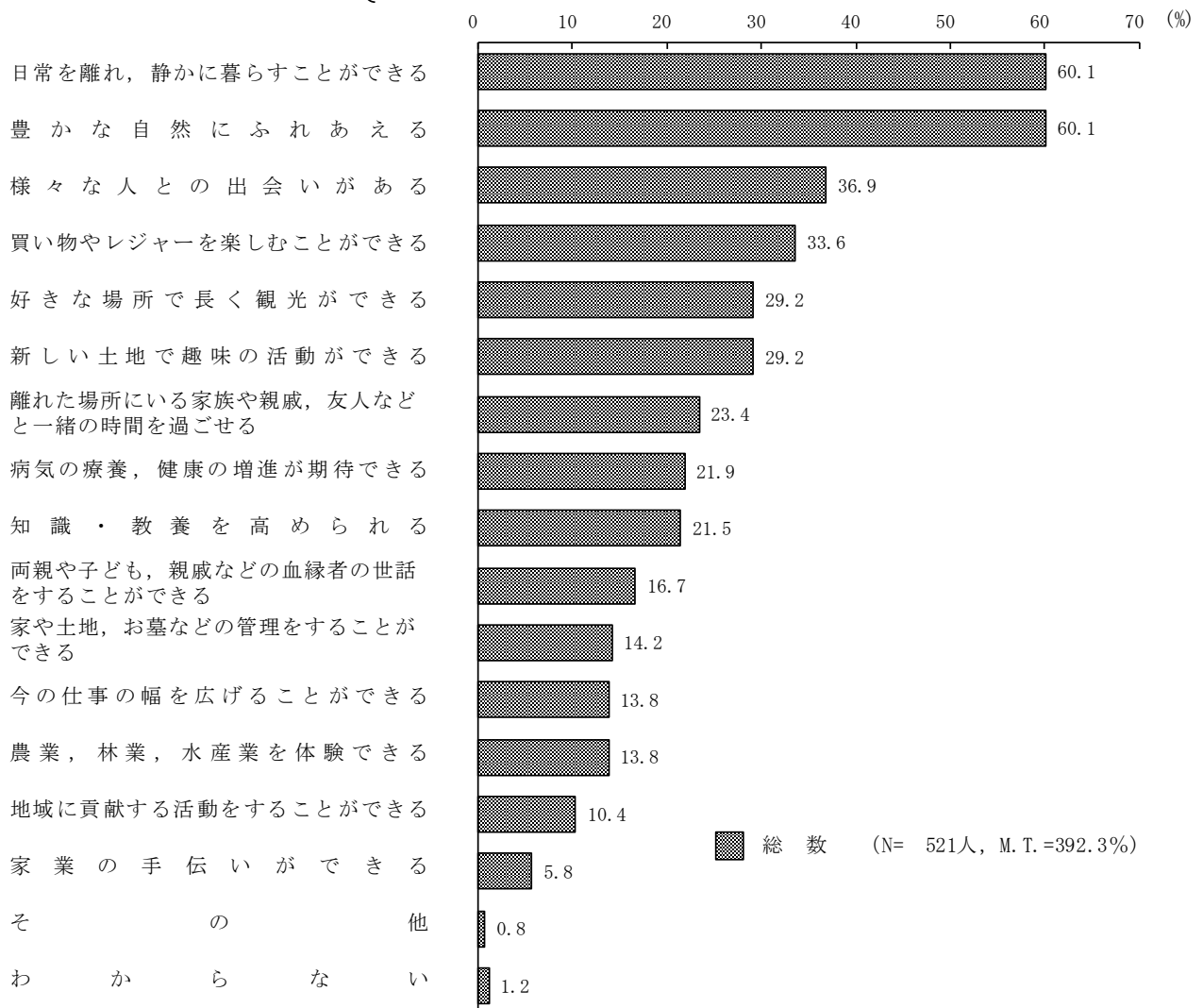
ア 二地域居住に対する関心事項

問 1 (問 1 4 で「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と答えた方 (521 人) に
 どのような点に関心がありますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位 2 項目)
 平成 27 年 8 月

- ・ 日常を離れ、静かに暮らすことができる 60.1%
- ・ 豊かな自然にふれあえる 60.1%

異なる地域で同時に生活拠点を持つ二地域居住のライフスタイルについて「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と答えた者に、複数回答



イ 二地域居住を実現するために必要なこと

更問2 (問14で「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と答えた方(521人)に)
 二地域居住のライフスタイルを実現するには、どのようなことが必要だと思いますか。こ
 の中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位2項目)
 平成27年8月

- ・経済的に余裕があること 85.2%
- ・時間的に余裕があること 64.1%

〔異なる地域で同時に生活拠点を持つ二地域居住のライフスタイルについて「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と答えた者に、複数回答〕

